## 4　地上部の緑化

地上部の緑化については、従来から行われてきた緑化手法であることから、「直接植えるタイプ」と「プランタータイプ」の紹介のみとします。

### 地上部の緑化タイプ別一覧

| タイプ | 説　明 | 使用できる建物 | 特　徴 | つくるときの注意点など | よく用いられる植物 | 事　例 | 年間の手入れの回数（事例の場合） | 費　用（事例の場合） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 直接植えるタイプ | ・建物周りの土が露出した場所で植物を植える緑化方法。 | ・敷地内に植物を植える場所を設けることができる建物。 | ・硬い建物の印象が強いまちの中で、視覚的なやわらかさを感じさせることができる。<br>・景観上のアクセントやランドマークとなる効果が期待できる。<br>・高木を植えた場合、地上へ吹き下ろすビル風を緩和できる。 | ・樹木の落ち葉や小枝の飛散、枝の伸長などで近隣に迷惑をかけないよう、敷地の境界近くの植樹は避ける。<br>・中・高木を植える場合は支柱を付けて倒伏を防ぐ。<br>・建設時に設ける植栽用の桝には養分の少ない土が入っていることが多いため、土壌改良を行う。<br>・植栽用の桝は十分な深さを取っていないこともあるので、使用する植物は状況を確認して決める。<br>・屋外でも屋根の下になるなど雨を受けにくいところに植栽する場合は、かん水装置を付けるなどして水やりに気を配る。<br>・狭い軒の下など雨だれがあるところでは、植物によっては傷むことがあるので、植物を選ぶ際に考慮する。 | （中・高木）<br>クスノキ、ケヤキ、アメリカフウ<br>（低木）<br>ツツジ、サツキ、マメツゲ、シャリンバイ<br>（つる植物）<br>ヘデラ類<br>（地被類）<br>ヤブラン、タマリュウ、シバ類<br>など | <br> <br>・山陽ビル<br>（中区大手町四丁目 6-16）<br>・高中低木、花<br>・昭和 59 年竣工 | せん定（1 回）<br>かん水(毎日)<br>施肥(1 回)<br>病虫害防除(随時)<br>花の取替（1 回） | 約 10 万円／年<br>（左記のうち、せん定、施肥、病虫害駆除に要する費用） |
| プランタータイプ | ・植物を植えたプランターを置く緑化方法。<br>プランターには、花を植えるのによく用いられるプラスチック製の小さなものから、樹木を植えられるようなコンクリート製の大きなものまで、様々なものがある。 | ・敷地内に、植物を植えたプランターを置くスペースを設けることができる建物。 | ・規模の大小やレイアウトなどを手軽に変更できる。<br>・景観上のアクセントとなる効果が期待できる。 | ・直接植えるタイプに比べると十分な土量を取れないため、土壌改良材を混ぜるなど、土の保水性を高める工夫をしたり、自動かん水装置を設けるなどの対応が必要。<br>・小さいプランターに背が高くなる植物を植えると不安定になるため、プランターの大きさと植物の大きさのバランスを考慮する。<br>・公道に面した場所では、壊されたり、盗まれることも考えられるので、注意が必要。 | （中・高木）<br>トネリコ、コニファー類<br>（つる植物）<br>ツルニチニチソウ、ハツユキカズラ<br>（地被類・草花）<br>ヤブラン、タマリュウ、パンジー、ベゴニア、サルビア、キンレンカ<br>など | <br>・広島市まちづくり市民交流プラザ（中区袋町 6-36）<br>・中木、地被類、花等<br>・平成 14 年 4 月竣工 | せん定（随時）<br>かん水(随時)<br>施肥(随時)<br>病虫害防除(随時)<br>花の植替（数回） | （ボランティアが維持管理作業を行っている。） |